**be English Expression Ⅰ Standard　教科書の特長**

|  |  |
| --- | --- |
| 発行者の番号・略称 | 231・いいずな |
| 教科書の記号・番号 | 英Ⅰ 340 |
| 教科書名 | be English Expression Ⅰ Standard |
| 発行者名 | 株式会社いいずな書店 |

|  |  |
| --- | --- |
| 内容の難易度 | 平均的な英語力を持つ高校生を対象としている。 |
| 内容の取扱い | ・コミュニケーションに必要となる，英語の基本的な表現力を身につけることを目的とした活動が，バランスよく準備されている。  ・レッスンの導入ページには，そのレッスンで学ぶべき文法・機能・発音のポイントと，暗記すべきTARGET例文がわかりやすく示されている。学習者はこのページを予習あるいは復習に活用することができる。  ・各レッスンは共通して，①導入（1頁目）→②定着（2-3頁目）→③発展（4頁目）の３ユニットで構成され，学習開始からゴールまでのプロセスが見えやすい。学習者が自ら何を学ぶべきかがきちんと把握でき，自律的な学習する姿勢を身につけるための配慮がなされている。  ・各レッスンの発展ページ（4頁目）は，与えられたタスクに４技能のアイコンが示されており，各技能を意識しながらバランスよく身につけられるよう配慮されている。 |
| 単元の構成・配列及び分量 | ・各レッスンが，①導入（1頁目）→②定着（2-3頁目）→③発展（4頁目）の３ユニットで構成されており，授業をテンポよく行うのに適している。  ①導入ページでは，学習者の発達段階に適した，高校生どうしの身近な会話が提示されている。その下には会話で使われている文法項目と表現の説明があり，学習すべきポイントを把握しやすい。さらに，会話中の注意すべき発音が学べるようになっており，音声指導にも適している。  ②定着ページは左右見開きで，左ページで文法解説を読んで基本の理解や習得の徹底を行い，右ページでドリルを行う構成となっており，学習事項の定着が見込める。つまずきやすいポイントを「注意」「参考」「確認」「区別」のアイコンとともに明示するなど，細かな配慮もなされている。  ③発展ページでは，レッスンごとに「自己紹介」「休日・休暇」などのテーマが設けられ，そのテーマに沿った文や会話をディクテーション・音読して，「聞く・話す」技能が身につけられるように構成されている。さらに，Read and Writeやペアワーク・グループワークなど，文脈に合わせた情報発信のタスクが設けられていて，英語での表現力の向上が期待できる。レッスンを追うごとに，身近な話題から社会的な話題へと徐々に深まるようにテーマが配置され，学習者に飽きさせない工夫がある。  ・教科書各Sectionでの学習到達目標が“STUDY FLOW”として後見返しに，各レッスンの学習到達目標が“TARGET”として各レッスンの1ページ目に，それぞれ掲載されている。これにより，学習者は常に目標を意識しながら自主的に学ぶことができる。  ・巻末の「場面別英語表現」では，海外を旅行したときなどに出会う9つの場面が取り上げられ，そこでよく使われる英語表現を学習する。ALTとの学習などに効果的である。 |
| その他  （図表，写真及び資料等） | ・イラストや写真が豊富で，学習者が表現を行う際に，想像力をふくらませる助けとなっている。  ・文字・字間・行間・書体等が美しく，読みやすい。 |
| 特記事項 | 英語での表現力を高めようという高校生が，興味をもって主体的に学習することの期待できる内容と構成をもった教科書である。 |